

12/23

手作りそばで年越し



上田代集落では、中山間事業と農地・水事業の一環として、耕作放棄地にそばを植え付け、上田代公民館でプロの指導により「そば打ち体験」を行いました。1年の豊作のお礼もこめて、各家庭で大晦日に食べて新年を迎えています。参加者は、手慣れた手つきで「来年も元気で頑張るぞー」と気合いを入れてそば粉を練っていました。

12/21

みふね恐竜観光ガイド修了式



「みふね恐竜観光ガイド養成講座」は、恐竜に関する知識や技能を学習し、将来は町の観光ガイドを養成することを目的に、恐竜の郷みふねプロジェクト(竹田津純会長)が行っています。今回の第3期生は、初の満点合格者が2人出るというレベルの高さで、10人の受講生全員が合格し、新しい恐竜ガイドとして誕生しました。

大自然の中でサッカー大会



- 1 __選手宣誓を行った御船REXジュニアサッカークラブの佐藤拓海君と藤田康暉君
- 2 __子どもたちの元気あふれるプレー
- 3 __大自然を舞台に行われたサッカー大会

12/1



標高600mの吉無田高原の大自然を舞台に、グリーンフェスタin吉無田「8人制ジュニアサッカー大会」が、吉無田高原「緑の村」グラウンドで開催されました。同高原イベント実行委員会が吉無田高原の雄大な大自然の中で、サッカーを通じて青少年の健全育成と健康増進、観光推進を目的に、今年で12回目の開催となります。県内から集まった8団体32チーム、約240人の小学1年生から3年生の選手たちが出場し、吉無田の大自然のなか熱戦を繰り広げました。

1/7

かるたあそびで昔へタイムスリップ



御船学童保育どんぐりクラブ(堀部久寿男会長)で、町の歴史や伝統文化を題材にした「御船郷土いろはかるた」を使って、子どもたちが楽しく遊んでいました。このかるたは、平成16年に御船校区愛郷づくり委員会が作成したもので、子どもたちはかるた遊びを通して、読み上げられるかるたで御船の歴史や伝統文化を学んでいました。

12/23

X'masの夜、生の音楽に触れて



木倉学童保育あけぼのクラブ(岩山亨会長)のクリスマスコンサートがグリーンヒルみふねで行われました。今年で3年目となるコンサート。熊本木管アンサンブルによる生の演奏に参加した児童や保護者はしばし酔いしれました。参加した鈴木彩花さんは「近くでクラリネットの音色が聞けて、みんなで歌を歌ったりして楽しかった」と話していました。

12/16

御船町ファンを増やそう!



町外から見た御船町の良さを発見するため、町観光協会(藤木正幸会長)が「恐竜ガイドと行く化石発掘ツアー」を行いました。今回、福岡から参加者を募集したところ、応募者数は400人になり、抽選で選ばれた30人が恐竜博物館や吉無田水源などの観光地を巡り、化石ひろばで、同行した恐竜ガイドと一緒に化石の発掘を行いツアーを満喫しました。

12/2

江戸時代から続く「節頭まわし」



五穀豊穡を感謝して、大杯に注がれた一升三合三勺(約2.4ℓ)の酒を飲み干す滝尾玉虫地区の「節頭まわし」が玉虫公民館で行われました。上組、中組、下組の組ごとに、男衆が年の順に酒を飲み干し、最後の一人が空になった大杯を頭にかざしました。江戸時代から伝わる祭事といわれており、その豪快な飲みっぷりに盛んな拍手が送られていました。